

プーチンの第3次大戦観：エリートたちを止める唯一の最後の聖戦

ロシア大統領が、地球的戦争は最後の聖戦によって終わると語る

【訳者注】「聖戦」というのは、まさに正しい言い方である。もし新聞などが、これを小耳に挟んで、「何、聖戦？ 十字軍じゃあるまいし、ジャンヌダルクや、ジハードじゃあるまいし、プーチンは何を、とぼけたことを言っているのだ」などと言ったとしたら、彼らは何ひとつわかっていないという証拠である。この戦いは、我々全員を巻き込んだ「聖戦」であり、倒すべき敵はあの「不浄の者たち」、ますますその不浄さを露骨に見せ始めた、あの者たちである。そして、我々が歴史上初めて目撃する、この驚くべき異常な不浄さは、しっかり見ておけ、と神の見せてくれているものである。「神は曲がった線を用いてまっすぐに書く」。我々は必至の覚悟で戦わねばならないが、武器は刀や鉄砲でなく、霊的向上という非物質的な戦略しかない。最大の武器は、集団でそのことに目覚めることであろう。プーチン大統領もそのことをよく知っている。いわゆる武器は、彼にとって必要悪でしかない。ここでもそれは、彼の言葉の端々に現れている。

Daniel Newton, www.neonnettle.com

June 7, 2018



ロシア大統領ウラジミール・プーチンは、生テレビ番組の新しいインタビューで、最後の聖戦あるいは第3次大戦が、「一つの文明の終わりになる」と語った。

<http://www.neonettle.com/tags/world-war-iii>

プーチンはさらに続け、脅迫によって、エリートの国際的権力が、地球的戦争に突き進むのをやめさせるほかないと言った。

新しい世界大戦の巨大なリスクについて見解を述べる時、彼はアルベルト・アインシュタインの言葉を引用して言った：——

「私は第3次大戦が、どんな武器を用いて戦われるか知らない。しかし第4次大戦は、棒と石ころを用いて戦われるだろう。」

ほんの数か月前、プーチンは、シリア攻撃のさなかに、アメリカとその同盟国に対して、多くの警告を発した。<http://www.neonettle.com/news/4163-putin-issues-final-warning-to-us-and-nato-before-wwiii>

現在、ロシア大統領としての次の任期を祝賀中のプーチンは、地球戦争の引き金として企まれた、ニセ旗化学作戦や、ヤラセ事件について警告した。



RT 報告によれば：——冷戦時代のことに触れて、プーチンは、国際的な役者たちを、いかなる過激な行動からも遠ざけ、互いの敬意を強いたのは、いつでも「相互破壊という恐怖だった」と語った。<https://www.rt.com/news/428988-putin-wwiii-restrain-conflicts/>

次に大統領は、最近のアメリカの行動——特に、ソ連との間で結ばれた、弾道弾迎撃ミサイル制限条約からの一方的な脱退——は、「この戦略的な平衡を破壊しようとする明らかな試

み」にほかならない、と指摘した。

ロシアはその条件を保持するために、それ独自の超高性能兵器システムを、開発しなければならないのだ、と彼は論じた。

「私は、どんな武器によって第3次大戦が戦われるかは知らない。しかし第4次大戦は、棒や石ころによって戦われるだろう」——プーチンの引用したアインシュタインの言葉
#DirectLine <http://on.rt.com/9703>

プーチンはまた、西側のロシアに対する、現行の、制裁政策や際限もない非難は、「反生産的」であり、ロシアと同じように、西側自体の利益を損なうものだと言った。

西側のリーダーたちは、それは「ロシアの発達を阻止する手段」だと考えている。「これは欠陥のある政策だと私は考える」と、彼はつけ加えた。

「人は誰だろうと、ロシアだろうと誰だろうと、“発達を阻止”すべきものでなく、建設的に協力して発達すべきです」と大統領は言った。

これがやがて、あらゆる者の利益になり、西側諸国はこの事実「次第に気づき始めている」のである。

——以上